

新型コロナウイルス感染症の対策も注目される中、 伝染病はどのように広がり、人類を蹂躪したのかを解き明かす！

ビジュアル パンデミック・マップ

伝染病の起源・拡大・根絶の歴史

著者：サンドラ・ヘンペル 発行：日経ナショナル ジオグラフィック社

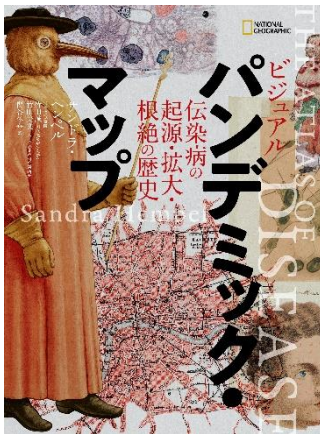
日経ナショナル ジオグラフィック社（代表：中村尚哉、所在地：東京都港区虎ノ門）では、
『**ビジュアル パンデミック・マップ 伝染病の起源・拡大・根絶の歴史**』を2月18日（火）に発行します。

本書は、現在、中国をはじめ、世界で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症の対策も急がれる中、ささいなきっかけで爆発的に広がってしまう伝染病を、様々な事例をもとに、感染のきっかけ、感染地域、症状、予防、治療方法や世界での取り組みなど最新のデータで解説するビジュアル書籍です。

中世ヨーロッパで猖獗をきわめたペスト、人の感染症として初めて根絶に成功した天然痘、世界を恐怖に陥れたエボラ出血熱、毎年のように流行を繰り返すインフルエンザ、最近になって新生児に重篤な症状をもたらすと判明したジカ熱。伝染病はどこから世界へと広がり、いかなる暴挙をはたらき、人類はどのように対処してきたか。20の感染症について専門用語は使わず、ビジュアルとストーリーで分かりやすく紹介しています。日本語版の監修は、国立感染症研究所部長で医学博士の竹田誠氏と元国立感染症研究所所長で細菌学を専門とする竹田美分氏。今こそ、読んでおきたい究極のビジュアル感染症マップです。

ビジュアル パンデミック・マップ 伝染病の起源・拡大・根絶の歴史

2020年2月18日発行／定価 2,600円＋税／224ページ／ハードカバー／全ページカラー／サイズ：天地230mm、左右170mm／サンドラ・ヘンペル 著／関谷冬華 訳／日本語版監修：竹田誠、竹田美文／
発行：日経ナショナル ジオグラフィック社



<主な内容>

section1 空気感染症

ジフテリア／インフルエンザ／ハンセン病／麻疹／猩紅熱
SARS（重症急性呼吸器症候群）／天然痘／結核

section2 水系感染症

コレラ／赤痢／腸チフス

section3 動物由来感染症

マラリア／ペスト／発疹チフス／黄熱／ジカ熱

section4 ヒトからヒトへの感染症

ポリオ／エボラ出血熱／HIV感染症とエイズ／梅毒

ナショジオストア <https://nationalgeographic.jp/atcl/product/20/122300006/>

Amazon <https://www.amazon.co.jp/gp/product/486313455X/>

- 新型コロナウイルス感染症の広がりや対策も注目される中、伝染病はどのように世界に広がっていくのかを地図や図版で分かりやすく解説！
- 感染のきっかけや、病原体の発見などの事例をストーリーで紹介！
- 最新のデータにもとづき、感染経路や収束の例、感染地域などをわかりやすく地図化！
- 各項冒頭には、病原体、症状、感染経路、流行の現状、予防・治療法ほか世界規模の取り組みをデータ化！

ビジュアル パンデミック・マップ


伝染病の起源・拡大・根絶の歴史

2月18日発行 / 日経ナショナル ジオグラフィック社



インフルエンザ

Influenza



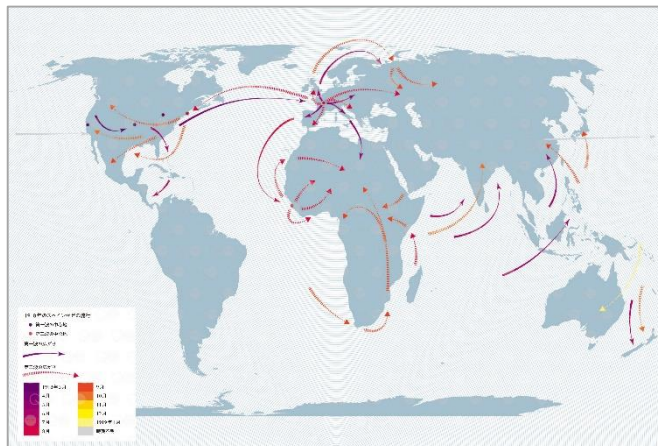
インフルエンザは、毎年冬に大規模な流行を繰り返している。この病気は、主にウイルスによって引き起こされ、咳、鼻水、発熱などの症状を引き起こす。歴史的には、インフルエンザはしばしば大規模な流行を引き起こし、数百万人の命を奪った。現代では、ワクチンと抗生物質の進歩により、その致死率は大幅に低下したが、依然として世界で毎年数億人が感染している。

SARS

SARS




SARS（重症急性呼吸器症候群）は、2002年から2003年にアジアを中心に大規模な流行を繰り返した。この病気は、主にウイルスによって引き起こされ、咳、発熱、呼吸困難などの症状を引き起こす。歴史的には、SARSはしばしば大規模な流行を引き起こし、数千人の命を奪った。現代では、ワクチンと抗生物質の進歩により、その致死率は大幅に低下したが、依然として世界で毎年数億人が感染している。




赤痢

Dysentery



赤痢は、主に細菌や寄生虫によって引き起こされる感染症です。この病気は、下痢、血便、腹痛などの症状を引き起こす。歴史的には、赤痢はしばしば大規模な流行を引き起こし、数千人の命を奪った。現代では、ワクチンと抗生物質の進歩により、その致死率は大幅に低下したが、依然として世界で毎年数億人が感染している。

当ロケット定食の危険性



このイラストは、赤痢の伝播媒介体である蚊を示しています。赤痢は、主に細菌や寄生虫によって引き起こされる感染症です。この病気は、下痢、血便、腹痛などの症状を引き起こす。歴史的には、赤痢はしばしば大規模な流行を引き起こし、数千人の命を奪った。現代では、ワクチンと抗生物質の進歩により、その致死率は大幅に低下したが、依然として世界で毎年数億人が感染している。



<著者紹介>

サンドラ・ヘンペル

医療ジャーナリストとして高い評価を受け、「タイムズ」「ガーディアン」「ランセット」をはじめとする多くの新聞や医学雑誌に寄稿している。著書に、英国医師会出版賞を受賞した『医学探偵ジョン・スノー——コレラとブロード・ストリートの井戸の謎』（日本評論社、2009年）、BBCのラジオ4でシリーズ化された The Inheritor's Powder がある。

<日本語版監修>

竹田誠（たけだ まこと）

国立感染症研究所部長。1967年大阪府生まれ。信州大学医学部卒業。医学博士。専門はウイルス学。

竹田 美文（たけだ よしふみ）

1935年徳島県生まれ。大阪大学医学部卒業。医学博士。元国立感染症研究所所長。現在、公益財団法人野口英世記念会理事長。専門は細菌学。

【報道関係からの問合せ先】 日経ナショナル ジオグラフィック社 広報事務局
株式会社リリオ 担当：仁地（にんち） TEL：03-6438-9195 090-2226-6459 ninchi.mikito@lirio.biz

日経ナショナル ジオグラフィック社 〒105-8308 東京都港区虎ノ門4-3-12